

科目コード	31550	科目名	造形表現論（令和元年度入学生より）	単位	1
-------	-------	-----	-------------------	----	---

次の設題について、1,500字程度でレポートを作成してください。

### 設 題 1

こどもの絵の発達についての基本的な考え方を述べ、「なぐりがきの時期」から「象徴期」「図式期」までのこどもの絵の発達の道筋を説明しなさい。また、「なぐりがきの時期から象徴期」「象徴期から図式期」に応じた指導・援助のあり方を述べなさい。

#### — 作成の手引き —

設題は幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「表現」領域を理解した上で、テキスト全体の内容を踏まえてから解答してください。

○こどもの絵の発達の基本的な考え方とその道筋については、第2章に記載してあります。「なぐりがきの時期」から「象徴期」「図式期」までの各段階の表現の特徴を詳しく述べる必要があります。

○また、「なぐりがきの時期から象徴期」「象徴期から図式期」に応じた指導・援助については、第1章の造形表現の意義を踏まえつつ、第3章絵をかくに述べているこどもへのかかわり方、描画材や用具のこと、そして環境構成（第12章）の視点からまとめてください。

### 参 考 書

○本学テキスト「造形表現論」

○「子どもの絵は何を語るか」 東山 明・東山直美共著 NHK ブックス863、日本放送出版協会 1999

○市販の保育内容「造形表現」に関する書籍など

○インターネット上でも、こどもの造形表現についてさまざまな意見や考え方が述べられています。しかし、それらの内には、これまでの研究上賛同することのできないものもあります。ネットの情報を参考にする場合は、注意深く読み込み、各自の責任で検討する必要があると考えています。

### 【学習の目的・ねらい】

子どもにとって、造形的な表現を保育者に理解されることはとても重要な意味があります。それ故に、保育者がこどもの絵の表現やその発達、特徴をよく理解し、指導・援助をすることはとても大切なこととなります。

また、こどもの絵の表現の中に発達の順序があり、個々に発達の道筋がありますが、単純なものではなく、考慮しないといけないこともありますから、正しくしっかりと学んでほしいと思います。現実には、さまざまなこどもがいるわけです。それらさまざまなこどもに対する造形活動の指導・援助をどのように行ったらよいかと考えることは、保育者としての実践の重要な基礎を学ぶこととなります。

### 【学習の進め方】

1. こどもの絵の写真やコピー、絵の図解、図表などを入れて説明するのは歓迎しますが、字数に入れません。
2. テキスト「造形表現論」をよく読んでほしいと思います。
3. レポート作成について、独りの学習でもやりやすくなるように、作成の手引きで具体的に示しています。それを参照して、レポート作成に取り組んでください。
4. 最も重要なのは、こどもの表現とはどのようなものなのかということを理解することです。だから、こどもの絵の発達の基本的な考え方とその道筋、そしてそれらの特徴について、自分なりに整理して、まとめてください。
5. 指導・援助については、保育者としてこどもの造形活動にかかわることになったと想定して、特に大切にしたいと思うことを述べてください。

### 【学習のポイント等】

- 幼児期における造形表現の重要性について、基本的な考え方を理解する。
- 乳幼児期の発達段階と造形の特徴を理解する。特に、なぐりがきの時期、象徴期、図式期について、各段階の表現の特徴を詳しく理解する。
- 指導・援助については、基本的な考え方を理解するとともに、実習などでのこどもの様子や指導体験と関連づけると、より実践的に理解ができます。
- あなたも私も、昔はみんなこどもだった。けれどこども時代に感じた好奇心・感動・独特な知覚については記憶から消えてしまいます。保育者という、大人の目線からの考察では、こどもの気持ちに沿わないものになる場合もあります。こどもだったときのことを思い出したりしながらテキストを読んだり、こどもの立場になってみたりして、こどもへの共感と愛情から指導・援助を考えたりすることは、大切な気づきを保育者に与えてくれることもあります。この方法しかないとか、これが正しい方法だとか、思い込みすぎないようにして考察を進めてほしいと思います。